

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-68026

⑤ Int. Cl. 4

F 16 D 1/06
F 16 H 1/00
55/17

識別記号

庁内整理番号

7617-3J
7331-3J
A-8211-3J

④ 公開 昭和62年(1987)4月28日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑥ 考案の名称 回転軸における動力伝達部材の位置決め装置

① 実 願 昭60-159430

② 出 願 昭60(1985)10月18日

⑦ 考 案 者 志 賀 光 男 和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内
 ⑦ 考 案 者 菊 島 勲 夫 和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内
 ⑦ 考 案 者 滝 沢 信 彦 和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内
 ⑧ 出 願 人 本田技研工業株式会社 東京都港区南青山2丁目1番1号
 ⑨ 代 理 人 弁理士 志賀 正武

⑬ 実用新案登録請求の範囲

回転軸の外面に、その長さ方向に沿いかつ周方向に間隔をおいて複数のスプラインを形成するとともに、該スプラインと直交して係止溝を形成し、該係止溝に、前記スプラインに嵌合させられる動力伝達部材と前記スプラインの長さ方向の端面とに係合させられて、動力伝達部材の回転軸の長さ方向への移動を拘束するスプラインワッシャを装着し、該スプラインワッシャと前記スプラインとの間に、両者に周方向において係合させられることにより両者の相対回転を拘束するロックワッシャを装着して成り、前記スプラインの断面をインボリュート歯状に形成し、かつ、前記スプラインワッシャとロックワッシャとの係合部をスプラインワッシャの外周部に設けたことを特徴とする回転軸における動力伝達部材の位置決め装置。

図面の簡単な説明

第1図～第3図は従来の回転軸における動力伝達部材の位置決め装置の一例を示すもので、第1図は分解斜視図、第2図は要部の縦断面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線に沿う一部を省略した拡大断面図、第4図および第5図は本考案の一実施例を示すもので、第4図は第2図と同様の図、第5図は第4図のV-V線に沿う一部を省略した拡大断面図である。

1……シャフト、3……ギヤ、4……係止溝、8……位置決め装置、9……スプライン、10……スプラインワッシャ、10a……溝部、10b……舌片、11……ロックワッシャ、11a……係合片、12……係合部、13……凹部、14……固定爪。

第3図



